

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：下保 修

| | | | | | |
|--------------------------|---|---|--|-----------|------|
| 事業名 | 一般国道325号 <small>うてな</small> 台 拡幅 | 事業区分 | 一般国道 | 事業主体 | 熊本県 |
| 起終点 | 自：熊本県山鹿市鹿本町梶屋 <small>やまがしかもとまちかじや</small> 至：熊本県菊池市七城町台 <small>きくちししちじょうまちうてな</small> | 延長 | 0.7 km | | |
| 事業概要 | 一般国道325号は、福岡県久留米市を起点とし、熊本県を通過し宮崎県西臼杵郡高千穂町に至る延長約133kmの幹線道路である。台拡幅は、交通量の増加に伴う交通混雑を解消し、安全で円滑な交通の確保及び緊急輸送道路として大規模災害時の道路機能確保等を目的とした延長約0.7kmの4車線道路である。 | | | | |
| H10年度事業化 | H 年度都市計画決定 (H 年度変更) | H11年度用地着手 | H10年度工事着手 | | |
| 全体事業費 | 25億円 | 事業進捗率 | 80% | 供用済延長 | 0 km |
| 計画交通量 | 23,100 台/日 | | | | |
| 費用対効果 分析結果 | B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 11.1 | 総費用 (残事業)/(事業全体) 5.2/30億円 (事業費：4.5/29億円 維持管理費：0.73/0.73億円) | 総便益 (残事業)/(事業全体) 58/58億円 (走行時間短縮便益：56/56億円 走行費減少便益：0.57/0.57億円 交通事故減少便益：1.3/1.3億円) | 基準年 平成19年 | |
| 事業の効果等 | ・円滑なモビリティの確保（現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在） ・物流効率化の支援（ISO規格背高コンテナ輸送車が通行できない区間を解消）他4項目 | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 | 事業採択の前年度に鹿本町、七城町の町長、議長等で構成された整備促進期成会から、本事業に対する要望がなされている。また、平成18年度には、新たに設立された菊池市長を会長とする整備促進期成会より、当工区に連続する菊池市内の4車線整備について要望がなされている。 | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 | 事業箇所沿線市町村の合併により、平成17年に新山鹿市、新菊池市が誕生し、両市の総合計画において本路線は基幹道路に位置付けられ、大きな役割を担っている。また、平成18年度に国土交通省より発表された国際物流基幹ネットワークにおいて、本路線の国道3号～国道57号区間がこれに指定されているが、本事業箇所は、橋梁の耐荷重不足により通行支障箇所となっており、早急な整備が望まれている。 | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 | 用地買収が平成17年度に完了し、現在橋梁工事を推進している。 | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | 長年難航していた用地買収が契約に至り、今後は橋梁工事、改良工事を推進し、平成21年度の事業完了を目指す。 | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 | 橋梁支承で従来と同等の性能を有する新開発のコストに優れた製品を採用しコスト縮減を図っている。 | | | | |
| 対応方針 | 事業継続 | | | | |
| 対応方針決定の理由 | 以上の状況を勘案すれば、事業採択時以上の事業の必要性、重要性が見込まれる。 | | | | |
| 事業概要図 | | | | | |

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。